

平成29年度 大阪美容専門学校 学校自己評価

教育目標	専門教育を通じ、必要な知識及び技能を授けると共に、人格及び教養を高め、時代に適応した有為な美容師を育成する。
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①授業の質を高める授業計画を作成する。 ②質の高い授業を実施し、国家試験の合格率を向上させる。 ③個に応じたきめ細やかな学習指導を行い、学力及び出席率の向上を図る。 ④将来の進路を見通し、夢をもって自身の個性や能力を伸ばせるよう指導助言をする。 ⑤丁寧かつ分かりやすい募集活動を通じて、魅力度の高い効果的な広報活動を推進する。

	具体的目標	具体的手段・方法	具体的成果・反省
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ①退学者の防止 ②広報活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校における生徒の状況を教員間で共有し、必要に応じて保護者との連絡を密にして、問題のある生徒に対して早期の対応を取り、退学者を極力未然に防止する。 ②広報活動の工夫並びに広報地域の拡大。ホームページと各種資料の内容の充実化。体験入学・学校見学会等の円滑な企画・実施による入学者数の増員計画実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ①担任による保護者との連携や、生徒に対する個々の対応に多少成果が見られたものの、まだ改善の余地が残されているとの反省に立ち、今後とも退学者の防止について学内全体で重点的に取り組む必要がある。また、今までと同様に、入学相談などには丁寧かつ適切に取り組む必要がある。 ②入学者は残念ながら定員を確保できなかった。今後共定員確保は厳しい状況だが、今後の課題として広報活動内容の更なる充実と創意工夫を継続し、本校に興味を持っていただいた方の、体験入学等の予約率や参加率を上げ、入学していただく必要がある。本校ならではの価値や魅力を高め、よりわかりやすい広報を心掛け、入学前イベントの参加を促進したい。
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ①専門教育の充実化 ②学力向上のための指導・支援の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ①専門教育と施設・設備の充実を図る。3年間を通じた知識・技能習得計画の立案と実施。 ②個人の学力に応じた幅広い指導を行う。出席率向上のための指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各学年での各専門コースの実習は計画通りに実施されたが、授業における質の更なる向上を目指したい。3年間を通じた知識・技能習得計画については、内容と実施体制をもう少しグレードアップしたい。 ②学力不振生徒については、補習・補講によるバックアップ体制を取り、その出席率の向上に注力した。担任主体で保護者との連携により、引き続き出席率の向上を図りたい。引き続き指導強化をしていくと共に新たな視点を加えた取り組みを模索する必要がある。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ①基本的な生活習慣の指導強化 ②教育相談の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①社会人としての基本的なルールとマナーを身につけさせる。(挨拶・服装など) 家庭との連携による生活指導の徹底を図る。 ②問題を持つ生徒の早期発見に努め、関係教職員への報告を密にし、保護者や支援機関等と連携して支援活動に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①登校時に教職員による挨拶・服装等のチェックを行い、ホームルームや実習授業中に基本的なルール・マナーの指導を行ったり、又、登下校時に校外の巡回を行ったりして、昨年同様一定程度の成果が見られた。担任主体で保護者との連携により生活指導を図ったが、まだ十分な成果があったとは言えない。特に生活習慣からか、遅刻者があまり減少しない実態を改善していく為に、より一層保護者の協力を得る必要がある。 ②長期欠席の生徒等についての対応については、必ずしも十分な成果があったとは言えない。特に、保護者自体お手上げの状態でも連携がうまくいかない場合が見られ、今後も重要課題として取り組んでいく必要があるが、ただ、この問題は保護者の認識と理解が必要不可欠である為、難しい課題だと考える。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ①就職活動の指導強化 ②就職後を見据えた指導の再認識 	<ul style="list-style-type: none"> ①求人票の早期収集・早期公開、企業説明会の開催や企業見学会等による就職活動に対する意識付けを図る。 ②就職後も長く活躍できることを視野に入れた指導・教育を考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①就職活動の早期意識付けの為に、今年度も就職指導を2年次から開始しており、意識付けはなされたと考える。就職希望者の就職率は、昨年をやや下まわったものの100%に迫る率であった。今後も重要課題として、生徒の意識付けと共に企業との連携を密にし更に改善を図っていく方針である。 ②就職率がよくても、すぐに離職してしまっはならない、という視野を持つ必要がある。そのための学習指導、生徒指導、進路指導であるべきと考える。